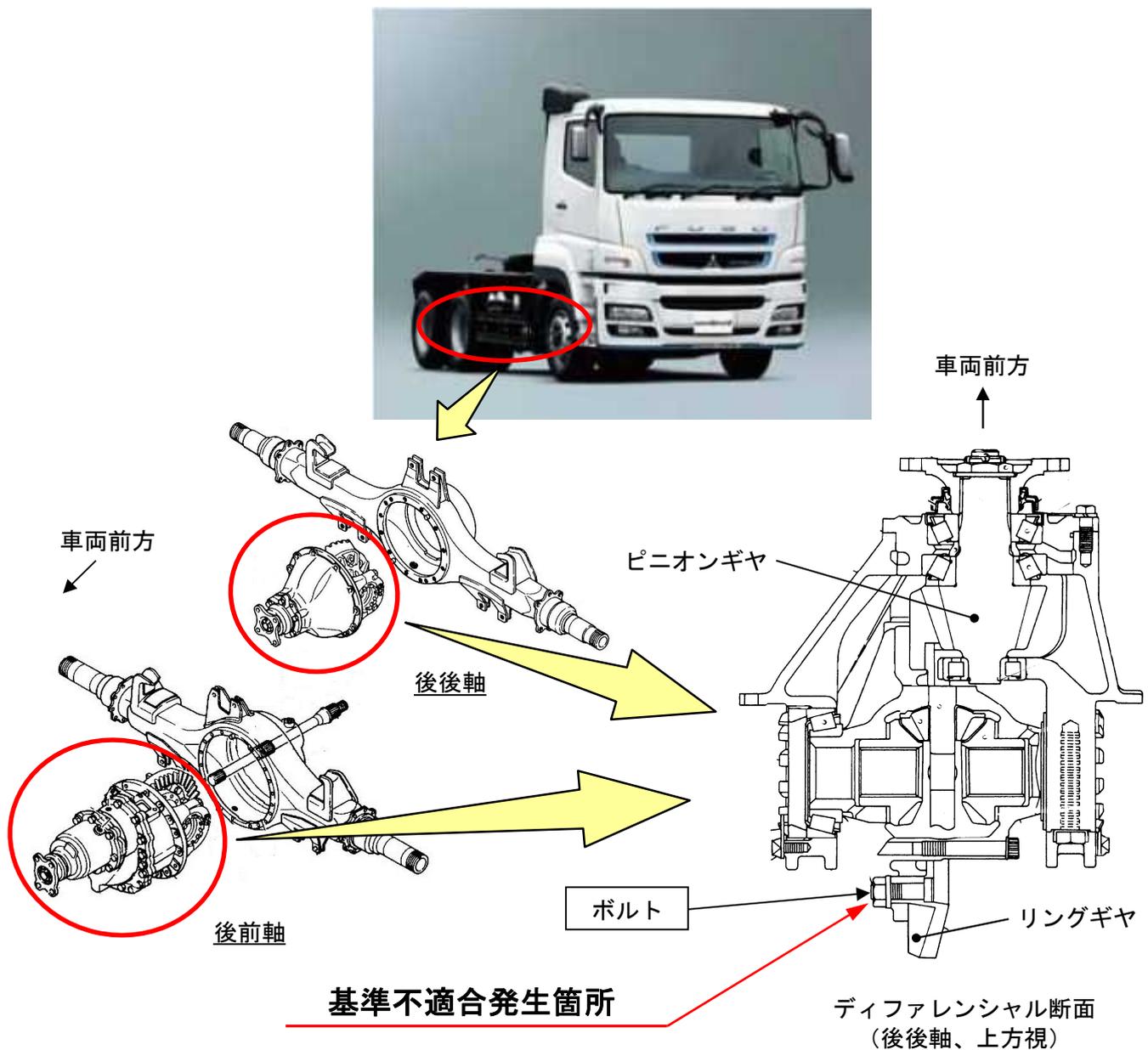


## 改善箇所説明図



後2軸式の大型トラックにおいて、ディファレンシャルのリングギヤを固定するボルトの締付作業を行う際、ボルト締付機のソケット形状が不適切なため、締付トルクが不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが緩み、最悪の場合、ボルトが抜け、ディファレンシャルが破損して走行不能になるおそれがある。

### 改善措置の内容

全車両、リングギヤの固定ボルトを規定トルクで締付ける。

注：□ は規定トルクで締付ける部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD206」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。